

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 20日

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 重症児デイNEST

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14		その日の利用児様の人数に合わせて、活動しやすいスペースを工夫しています	
	2 職員の配置数は適切である	14		必要な有資格者を配置し、ほぼ1対1で対応しています 毎日利用児様の人数に合わせて、配置されています	有資格者、人数など配置基準を満たしています できる限り1対1で対応できるように配置しています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	14		目の届く空間で、安全を第一に過ごせるよう配慮しています 車椅子が通りやすい様に適した環境になっています もう少し、余計なものを整頓すると、よりよい環境になると思います	全てのフロアがバリアフリーになっており、車椅子や歩行できる利用児様でも移動しやすくなっています 個々の身体状態に違いがある為、利用児様が共に安全に過ごせるような環境を整えています
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	1	運営会議では、多職種で意見を出し合い業務改善に努めています	職員は入職当初、利用者様との関わりを多くともらっており徐々に業務内容を増やし担っています 運営会議などで、業務方法や業務の簡素化、改善案など意見を出し合い業務改善に努めています 参加できなかった職員には議事録を用いて情報を伝え、情報共有に努めます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14		年に1度、保護者様へ評価表の記載をお願いしています 集計結果を職員と共有し、改善に努めています	年一回、保護者様に評価表の記載を依頼し、貴重なご意見を頂く事でより質の高い施設にしていけるよう業務改善に努めます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14		評価表の結果を集計し、年度末にHPで公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	11	外部評価は行ってないが、他事業所や相談員、市役所などの意見を頂き、業務改善につなげています	必要であれば、第三者による外部評価を導入し業務改善を図ります
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	2	利用児様が使っている医療機器メーカーや職員が知りたい内容、疑問に思っている事を出し合い、研修内容を検討し積極的に研修の機会をつつてくれています 勤務時間外に行われる外部研修が多く、参加が難しい事がある	社内研修の充実を図っていく事が課題です 職員の専門性を高めるため、研修への参加や伝達講習の機会を増やせるよう調整を行い、自己啓発・人材育成に努めます
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	14		年3回の保護者面談などで、児の成長や状況、ニーズなどを把握し、職員の担当者会議でアセスメントし計画を作成しています 保護者様の思いや意見を取り入れ、日頃の関わりを基に計画を作成しています	利用児様の状況や成長発達に合わせた支援計画を作成し、保護者様にわかりやすい説明を心掛けています
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	2	利用者様により身体状態や医療的ケアが大きく違い、個々に合わせた内容を取り入れ、どの職員にもわかりやすくなっています 利用児様が個々に毎日行うToDoリストを作成し、職員にもわかりやすいです	一定のアセスメントシートを使用しているが、医療的ケア児など利用児様の個々の状態に合わせて使い分けしています
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	13	1	保育士が中心ではあるが、職員全体で意見を出し合い活動プログラムを立案しています 日々のプログラムは保育士が中心、ToDoリストの内容は担当者会議でみんなで考えます	保育士だけでなく、職員全員が活動への意見を積極的に発信していけるよう意識を高める事が課題です
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14		好きな遊び、活動が個々に違う為、興味が広がる様、様々なプログラムを考えています 季節や個々の状況に合わせて、活動内容に合わせた固定化しないよう工夫しています 季節や社会的ブームも取り入れて、楽しめています	利用児様が色々な活動を経験し、興味や関心を広げられる様、季節を感じる制作や体動かす遊びなどを行っています 活動プログラムが固定化しないよう、保育士を中心に職員の意見を取り入れながら活動内容を検討しています
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	3	長期休暇前には、保護者様と課題を検討して取り組めるように工夫しています	長期休暇の間、普段学校で行っている事や自分でできる事などが引き続き行えるよう、長期休暇前に保護者様と課題を検討し必要時は計画の修正を行っています
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	14		個別活動では感覚が刺激されるよう触れ合いを大切に、集団活動ではお友達と一緒に参加し、楽しい雰囲気を感じられるように心がけて支援しています	利用児様の年齢や身体状況に合わせた活動方法を検討し、支援計画に取り入れています
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	3	朝、その日の活動内容や、職員の役割について把握できる様、ホワイトボードを使用しています 打ち合わせが不十分な時がありお迎え時間の変更が職員に伝わらないことがあった	その日の全体の流れや役割分担、活動内容、活動のねらいなどをボード化しており、出勤後に職員が確認し、必要時は変更を行っています 職員の出勤時間がそれぞれ異なるため、職員が個々に確認を取りながら情報共有に努めています
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	6	多機能型施設であり、通所時間が異なる事や臨時職員を多いため、支援終了後に職員全員で振り返りをする事は難しいです 活動報告を作成したり、職員連絡用のノートを活用、口頭などの情報共有に努めています	日々の活動後、活動報告書を作成し、支援の振り返りを行っています 利用児様それぞれの反応を振り返る事で、次の活動方法を計画、修正することができ、より良い支援に繋がれる様に努めています
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	1	通所記録に体調の変化、支援内容や児の反応など細かく記載しています 通所記録・活動報告・職員用連絡ノートを用いて支援の検証・改善の振り返りができるよう努めています	通所記録は、ケアや活動後にその都度記載する事を徹底し、記入漏れを無くすと共に、通所記録・活動記録・職員連絡用ノートから支援の振り返りを行い、より良い支援に繋がれるよう努めています
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	14		年3回、職員間で支援計画についての検討と情報共有しています 担当者会議で計画の見直しを行い評価・修正を行っています	児発管を中心に年3回、保護者面談を行い、モニタリング結果を基に職員間で意見交換を行い、支援計画の評価・修正をしています

関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	10	4	放デイガイドラインを熟読し、支援の向上に努めています 利用児様がより充実した生活が送れるよう、基本活動を組み合わせ支援を行っています	職員は入職後、仕事に慣れてきた頃にガイドラインを熟読してもらい、放デイについて理解し支援を行っています 放デイガイドラインの4つの基本活動について理解し、活動計画に取り入れながら支援を行えるよう努めています
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	1	代表・児発管が必要に応じ、参加しています 利用開始時や利用児様の状況の変化などの際は、相談員に声をかけ担当者会議開催の提案しています	代表・児発管が担当者会議に参加し、利用児様の様子など他事業所と情報共有すると共に、統一した支援ができるよう連携を図っています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	14		学校行事や送迎時間についてなどご家族から情報を頂くことが多いです 学校お迎え時に、学校でのその日の様子について、先生に確認し情報を共有しています	必要に応じて、保護者様、学校との連絡調整を行っています 学校送迎時に先生と、学校・事業所の様子などを互いに情報を共有できるよう努めています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	14		主治医に看護指示書の記載を依頼し、緊急時の対応や搬送の目安などを把握し、体制を整えています 「はいしゅくくんネット」に登録し、病院・訪看などと情報共有し支援体制を整えています	利用児様の主治医に看護指示書を依頼し、保護者様へ確認のもと、指示書に基づいたケア、緊急時の対応などを職員に周知し、病院・主治医との連携を図れるよう努めています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	11	今年度は対象児がいまませんでした	今後、対象の利用児様がいた際は、他施設と情報共有し相互理解に努めます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	4	今年度、施設として初めて生活介護へ移行する利用児様がいまました 相談員を中心にサービスの移行について情報共有しています	今年度、生活介護への移行を初めて行いました 利用状況や他施設での様子についてなど、情報共有や相互理解をしながら連携を図っています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	6	相談員や児が併用している施設の職員などがディでの様子を見て来てくれたり、電話連絡などで連携を図っています 研修の際に交流を行い、情報共有する中で助言を頂いています	それぞれの事業所・施設に特色があり、研修会に参加したり施設見学をさせて頂く事で職員の知識を深め、より良い事業所にできるよう、参考にさせて頂いています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		14	土曜日や長期休みに職員の子供達と交流する機会はあるが、地域の子供達との交流はありません	現在、積極的な交流は行っていますが、必要に応じて地域行事に参加し、子供達との交流の機会を検討していきます コロナ禍であり、外との交流については課題です
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	12	2	年5回、代表・児発管が事業所連絡会に参加し、情報交換の機会を設けています	事業所連絡会に参加し、福祉行政の地域課題について検討しています 今年度はコロナ禍の市内事業所の対応を振り返り、色々な課題を次につなげられるよう情報交換をしました
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14		日々の通所記録や送迎時に保護者様に児の様子を伝えると共に、定期的な面談を実施し共通理解できる様、保護者様とコミュニケーションを図っています	日々の記録や送迎時、面談などで保護者様と積極的にコミュニケーションを図り、利用児様の成長発達への情報を共有すると共に、活動へのご理解・ご協力を頂けるよう努めています
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	7	7	ペアトレの研修の機会が少なく、参加できていない 保護者様からの相談や悩みなどはその都度適切に対応するよう努めています 重症児や医療ケア児に向けたペアトレ研修へ参加していきたいです	現在、家族支援プログラムとして行うことができていませんが、保護者様の相談や悩みなどを個別に対応するよう努めています 保護者様、職員向けの研修の機会を設け、職員がペアトレの視点を持って保護者様からの相談に応じていく事が課題です
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	1	契約時に、書面に沿って説明を行っています 請求書・領収書の発行を行い、保護者様にわかりやすくしています 随時、必要な内容や不明な点は説明するように努めています	契約時、管理者が保護者様に分かりやすく伝えられる核心掛け、説明を行っています 内容変更時などは随時説明を行い、保護者様が理解できる様努めています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14		送迎時など保護者様とお話をする際には、相談しやすい雰囲気を作り話に耳を傾けるよう掛けています また何かあれば職員で情報共有できるようにしています	信頼関係を築き、保護者様が悩みや相談事を職員に発信して頂ける様努めています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	8	コロナのため、保護者様にイベントに参加して頂いたり、ディでの様子を見て頂きながら保護者様同士の交流の場を設けることができなかった	保護者イベントを数回企画しましたが、今年度はコロナの感染拡大のため、利用児様だけでイベントを行いました 今後も積極的に親子イベントを計画し、保護者様同士の交流の機会がつかれるよう努めます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	14		保護者様からのご意見や、苦情に対して、管理者に報告すると共に誠心誠意、迅速に対応するよう努めています 電話やSMSも活用し、スムーズに対応できるようにされています	苦情窓口を設置し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応を行います 内容を職員間で共有し、迅速に体制の整備を行うよう努めます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14		月に1回会報を発行し、日頃の活動の様子や活動予定などわかりやすく掲載しています 活動時などの写真を積極的に撮り、写真を含め反応や様子を保護者様に伝えています	引き続き、保護者様に向けて、活動の様子や活動予定、連絡事項などを中心とした会報を月に1回発行していく予定です
	35	個人情報に十分注意している	14		個人情報記載された書類は、情報が漏れる事が無いよう鍵付きのキャビネットに厳重に保管しています 利用児様の写真をTSUBAME通信やHPなどに載せる際は、必ず保護者様の同意を得ています	個人情報記載された書類などは、鍵付きのキャビネットに保管しています HPなどに掲載する写真などについては、保護者様の同意のもと掲載させて頂いています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14		介助をする際は児に合わせ、選択肢をつくる事、返事をゆっくり待つなど反応を確認しながら、意思疎通が図れるよう配慮しています 利用児様のサインをよく理解し、共有しながらコミュニケーションが取れるよう努めています	利用児様の返事や意思の表出方法がそれぞれ違う為、支援計画に取り入れながら利用児様が発信するサインを読み取れるよう、日々の関わりの中で意識して支援しています
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		14	現在、行えていません 施設周辺を散歩する際は、積極的に挨拶をして、施設や利用児様・職員を覚えて頂けるように意識しています	今後、施設や利用児様の事を地域の方々知って頂き、災害の際などに支援を頂ける関係をつくる事が今後の課題です	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	3	医師の指示書に基づき、個々に合わせた緊急時対応マニュアルを作成しています 他マニュアルについては順次作成中です 勉強会や緊急時対応の訓練は行っています	緊急時と感染症のマニュアルは作成しており、職員や保護者様へ周知する事が課題です 防犯に対してはセキュリティー会社に依頼をしていますが、マニュアルは作成できておらず、今後作成し職員に周知していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14		定期的に避難訓練を行い、対応の確認を行っています 突然の訓練は、問題点が明確に見えるので続けていきたい 災害訓練を日常生活のなかに取り入れ、反省点は即時改善しています	半年に一回・適宜、避難訓練を行っています 災害時に備え、利用児様に必要な医療ケア物品や薬などを2日分、施設内で保管させて頂いています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	7	外部研修に参加したため、全職員へ伝達講習を行い、虐待への意識を高める事が課題です	マニュアルや職員研修を準備中です 研修への参加機会を増やせるよう調整を行い、職員が交代で研修に参加し自己啓発・人材育成に努めます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	10	現在、拘束が必要な対象の児がいません 5つの基本的ケアを大切に関わっています やむを得ず拘束が必要な際は、児と保護者様に十分な説明を行い適切に対応していきます	拘束に関しては、できる限り代替え性がなく慎重に検討していきます やむを得ず、拘束が必要な場合には利用児様・ご家族様に事前に十分な説明を行い、支援計画に取り入れた上で適切に対応していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	1	保護者様に確認の上、おやつ提供や活動(おやつ作り)を行っています	医師の指示書を提出頂いており、面談の際に最近のアレルギーの様子や対応などについて、保護者様に確認をしています 安全を考慮し、医師の指示書に基づいた対応が取れるよう努めます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14		事例があった場合にはヒヤリハット報告書を作成し、職員全員で検討会議を行い、情報共有し再発防止に努めています ヒヤリハット事例のファイルがあり、出勤時に確認している	事例があった際は、迅速に会議を行い、全職員が情報を共有し再発防止に努めています